

第2874回例会 令和4年11月17日(木)

出席委員会委員長	神谷正康
会員総数	22名
本日の出席者(免除者)	17名(3名)
本日の出席率	80.9%

会長あいさつ

会長 早川比呂太 君

皆さん、こんにちは。本日の卓話者は地区ロータリー財団委員会久具信夫副委員長です。所属は豊川 RC です。13日の日曜日に愛知県国際展示場にて地区大会が行われ、我がクラブからは12名が出席しました。箆橋ガバナー、辰野 RI 会長代理の報告、各種表彰、ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、次回地区大会ホストクラブ等の紹介などがありました。やはり一番印象に残っているのはトヨタ自動車の内山田会長の講演でした。自動車のエネルギーに伴うカーボンニュートラルについてパワーポイント利用して分かりやすく説明をしていただきました。しかし、話の内容はこれまで豊田社長が言われてきたことを詳しく説明されたんだという印象です。自動車のEV化が声高に言われて、中国はじめヨーロッパなどはEVありきで進んでいるが、電気をつくるのにどれだけの設備を稼働しなければならないかということです。原子力発電は前提から除外した上で、火力発電等によってCO2排出が増えることになりカーボンゼロとは逆行する話です。電気エネルギーをつくるのにCO2を出さない方法として、水素エネルギーの活用が最有力であるという豊田社長の思いを講演した格好になりました。でも非常に分かりやすかったことは大変有意義でした。

今週のスマイル

親睦委員長 田中三千雄 君

地区ロータリー財団委員会 久具信夫君

本日はよろしくお願ひ致します。

早川比呂太君 財団副委員長久具様、本日はご指導よろしくお願ひ致します。

渡邊 徹君 地区ロータリー財団委員会副委員長久具様、ようこそ西尾一色 RC へ。本日はよろしくお願ひ致します。

近藤清隆君 先日の15日高浜クラブへ行ってきました。また地区大会はコロナ濃厚接触者になり失礼しました。今日のスマイルスイーツは半田屋さんです。

鈴木茂朗君 ガバナー補佐近藤君、おいしいアンモナカをありがとうございます。久しぶりで、食べるのは！

神谷正康君 先日は早川会長ごちそうさまでした。

池田榮三君 地区ロータリー財団委員会副委員長久具信夫君、ようこそ西尾一色 RC へ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

神谷 林君 久具君の卓話楽しみに聞かせてもらいます。

山下民義君 RC 財団副委員長久具様、本日の卓話ご苦労様です。

牧野美恵君 久具様卓話よろしくお願ひ致します。近藤さん、たくさんのスマイルスイーツありがとうございます。

田中三千雄君 早川会長先日はありがとうございました。また近藤さんスイーツありがとうございます。

11件 17,000円



スマイル★スイーツ
近藤清隆君

本日の卓話

「ロータリー財団を活用しよう」

地区ロータリー財団委員会 副委員長 久具信夫君



皆さまからの大切なご寄付がどのように使用されているかを、説明いたします。

まず、ロータリー財団とは、1917年6月18日、ヨーロッパで戦火が荒れ狂うころ、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー年次大会で、当時の会長アーチ・クランプは「世界で良いことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われる」と、自身の構想を発表しました。その1ヶ月後に寄せられた、26ドル50セントの寄付で始まった基金は、1928年、「ロータリー財団」と改称され、今日に続いています。ロータリー財団のその使命はロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることで、その役割は、ロータリークラブ及び地区を通じて実施される、承認された人道的及び教育的活動支援のために寄付を受け付け、資金を分配するのが、ロータリー財団の役割です。

国際ロータリーが人間の「カラダ」としたら、ロータリー財団は「血液」です。「血液」が無ければ、「カラダ」は動きません。国際ロータリーは皆さまの会費で運営していますが、ロータリー財団は、ロータリアン皆さまからの寄付で運営・活動をしています。

昨年度 2021-22 年度貴クラブより年次基金おひとり 100.00\$ ポリオプラスおひとり 30.00\$ 恒久基金1,000\$ 多大なるご寄付ありがとうございました。

本年度 2022-23 年度 2760 地区のロータリー財団寄付の目標は、年次基金おひとり 150 \$ 以上ポリオプラスおひとり 30 \$ 以上です。恒久基金、クラブでベネファクター1名または、1000 \$ 以上です。

2021-22 年度は、恒久基金に寄付されたクラブは 42 クラブありました。大口寄付者は 9 名、ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、現在 22 名のメンバーがいらっしゃいます。このような実績から、昨年度は地区目標額を上回りました。「大口寄付」とは、一括 10,000 ドル以上を寄付される方です。寄付分類は問いません。

「ポール・ハリス・ソサエティ」とは、毎年 1,000 ドル以上を、年次基金またはポリオプラス基金に寄付することを約束された方を認証するためのプログラムです。

ロータリー日本財団への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。法人からの寄付も同様です。個人向けの領収書は半年ごとにクラブへ発送されていますので、受け取られましたらしっかり保管してください。詳しくは、「寄付・認証の手引き 2022-23 年度版」をご覧ください。財団室 NEWS8 月号に、ダウンロード用 URL が掲載されています。

続きまして、皆さんから集めた寄付が、どのように使われているのかを表したグラフです。

グローバル補助金事業は、年々実施件数が増えており、2020-21 年度は 2,066 件が承認されました。

チャリティーナビゲーターは世界の奉仕団体を調査している組織ですが、ロータリー財団は、14 年以上、最高位の 4 つ星を獲得しています。このように第三者機関にも認められております。ロータリー財団の情報は、財団室 NEWS を是非お読み下さい。毎月 DCS でクラブにお届けしていますので、事務局員さんから皆さまに転送されていることと思います。また、地区のホームページからもダウンロードできます。いろいろな情報が掲載されています。特に、ポリオの発症数については毎月掲載されていますので、会長挨拶の時などにお話していただければ幸いです。

地区の財団委員会のプログラムを順に説明致します。

まずはポリオプラスです。END POLIO の映像をご覧ください。

ポリオ根絶は、ロータリーの最優先項目で、世界の子もたちへのロータリーの約束です。特に感染しやすいのは 5 歳未満の子どもで、治療法はないですが、ワクチンで予防が可能です。6 月に、ロンドンの下水からポリオウイルスが検出され、ロンドンに居住する 1 歳から 9 歳までのすべての小児を対象に、ポリオオワクチンの緊急追加接種を実施することが発表されました。また、ニューヨークでも下水からポリオウイルスが検出され、7 月には、アメリカでは約 10 年ぶりにポリオの感染者 1 名が確認されました。とにかく、世界にひとりでも発症者がいたら、毎年 4 億人の新生児にワクチンを打ち続けなければなりません。

パキスタンで感染者が増えている理由ですが、不十分なインフラと文化的障壁、辺縁の地域までなかなかワクチンが届いていない、パキスタンのタリバンがワクチンを推奨していない、個別訪問するポリオ接種チームが政府のスパイと思われるそうです。そのため、医療従事

者の身にも危険が及ぶ可能性があり、WHO は、医療従事者の身の安全を最重要としているので、ワクチン接種がうまく進んでいないようです。

皆様お住まいの町の新生児数は何人いらっしゃいますか？ポリオが根絶されれば、ポリオワクチンをそもそも打たなくてよくなれば、その町の財政負担の軽減にもつながると思います。

また、10 月 24 日に世界ポリオデーとして、全世界でポリオ撲滅のイベントを行いました。2760 地区では 10 月 25 日に南山カントリークラブにて、チャリティーゴルフコンペを行いました。また、2023 年 4 月 15 日 (土)、16 日 (日) にはワールドフードふれ愛フェスタ (WFF) が行われます。ここで集めたお金で、移動図書館をパキスタンに寄付をしています。

続きまして教育への支援という事で、平和フェロシップとグローバル補助金奨学生のご説明です。まず、平和フェローですが、世界 8 つの大学と提携している「ロータリー平和センター」では、世界平和と紛争予防の担い手を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。世界中の多くの応募者の中から、毎年、最高 130 名が平和構築のために勉強しています。修士号取得プログラムでは 3 年以上、専門能力開発修了証プログラムでは 5 年以上の実務経験が必要です。当地区からは、しばらく奨学生を送り出していないので、候補者がいましたら推薦をお願いします。

地区補助金の活用のお願いです。地区補助金には、地区補助金とグローバル補助金の 2 種類がございます。今年度地区補助金は 84 クラブ中 56 クラブからご申請をいただきました。申請時に「地区とクラブの覚書」(MOU) を会長と会長エレクトが署名をした書類を提出していただきます。授与と受諾の条件には、事業に際して「やってはいけないこと」注意書きが記載されています。どちらも、しっかりと読みいただき、遵守していただかなければなりません。続いてシェアシステムの説明です。財団では、3 年の資金サイクルを採択しております。年次基金を 3 年間資金として運用し、その運用益は財団の運営費に使われます。3 年後、その元金の半額が地区財団活動資金 (DDF) とされるものです。そしてその半分が国際財団活動資金 (WF) です。そしてさらにこの地区財団資金の半分が地区補助金として使う権利があるという事です。また、この半分がグローバル補助金として使われます。2 つの補助金について具体的にご説明致します。地区補助金は、比較的小規模で短期間のプロジェクトを支援致します。地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組む事が必要です。今年度から各クラブの申請可能額を設定させて頂きました。クラブの 3 年前の拠出頂きました、年次基金寄付の総額 25% を今年度使っていただけるように設定させて頂きました。2023-24 年度の貴クラブの地区補助金申請可能額は 575 \$ です。お早目に 2023-24 年度の事業立案に取りかかって頂きます様、宜しく願致します。

これまでのルールと大きく変わり、明確になりました。25% はそれぞれのクラブが納めた年次基金寄付ですから、まずは、その補助金を活用して事業を構築してください。これまでとルールを変更し、クラブの拠出金はマストで

はなくなります。申請可能額のみでの事業が可能で、クラブ拠出金を上乗せすれば、さらにもっと大きな事業が可能で、地区補助金を積極的に申請して奉仕事業を行って下さい。

次に毎年補助金委員会で頭を悩ますテーマが継続事業と寄贈事業です。

継続事業についてですが、先程申し上げました、授与と受託の条件の制約事項に、特定の受益者に過度の支援をしてはいけないと書いてあります。今年度は委員会で議論を重ねた結果、内容が昨年と同じだけれども、受益者が違えばOK。また、受益者が同じでも内容が違えばOKとしております。申請可能額を設けさせて頂いた事で限られた条件の中、よりインパクトのある奉仕事業を構築して頂きたいという想いから、ルール改正させて頂きました。続いて、寄贈事業です。地区補助金というのは、ロータリアンが汗を流して地域に貢献するという事を大きな目的として作られたシステムですので、ただ物を差し上げるだけでは地区補助金として認められないという風に考えています。ロータリーが積極的に参加する事が求められていますので、事業目的達成のために必要な資材・機材の整備が伴う事業はOKです。実際にリアルに何か物を運んだり、工を手伝うことはもちろんですが、地域のニーズを調査したり、準備をするプロセスも含めています。

今年度の地区補助金事業を、コロナに負けずに実行してください。規模の縮小など、変更点がある場合はご相談ください。また、今年度の地区補助金事業を、地区公共イメージ向上委員会に伝えるとともに、HPやSNSで広報してください。

グローバル補助金事業です。グローバル補助金事業は、長期的で持続可能な影響をもたらす事業、予算 30,000 \$ 以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組む事です。この「持続性をいかに担保するか」ということが重要なポイントです。加えて、「ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む」プロジェクトでなければなりません。皆様すでにご存知かと思いますが、2021年7月より重点分野に『環境』が加わり”7分野”となりました。これまで日本は、主に「援助国」側でしたが、『環境』については、日本も「実施国」となり得る分野だと思えます。今年度から、当地区のDDF配分ルールが変わりました。変更前は、クラブは1円も出さずに申請することができましたが、今年度からは、クラブ拠出金が必要です。そのため、理事会に諮る必要が出てきます。地区補助金の申請には期限がありますが、グローバル補助金はいつでも申請ができます。ただし、必ず事前に「RID2760 地区財団活動資金申請書」を提出してください。書式は、地区補助金の申請書と同様に、地区のホームページよりダウンロードできます。

職業研修チームです。Vocational Training Team の略でVTTと呼ばれます。専門家チームを海外に派遣して研修を行う。または、専門家チームを国内に招聘して研修を行うプログラムです。

続きまして、グローバル補助金奨学生です。以前はどのような分野でも奨学金を申請することができましたが、未来の夢計画導入によって、ロータリーの重点分野に限定

されました。グローバル補助金奨学金の申請には、実務経験は不要です。こちらにも候補者がいましたら、推薦をお願いします。奨学金の申請については、締め切りがあります。今年度の募集は締め切りしました。次の応募期間は2023年7月1日から10月31日で、2024年秋入学以降の方が対象となります。

最後に財団の資金の説明です。財団は皆様のご寄付で成り立っていると申し上げましたが、寄付の分類には、年次基金、ロータリー災害救援基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金があります。詳しくは、「寄付・認証の手引き 2022-23年度版」をご覧ください。

ロータリーカードの紹介をさせていただきます。ご覧の種類があり、いずれも、カードの種類に応じて、利用額の0.3%または0.5%等が自動的にポリオ根絶の支援金となります。本日は、とくに、右側に書いてあるダイナースクラブのクラブカードにご案内させていただきます。今年度は、クラブカードの他に、地区補助金事業用として、ネット等での支払いに利用できる「地区補助金専用口座に紐づけたカードを作成してください」とお願いしています。とくに使用されているのが、「例会費」、「人頭分担金」、「財団寄付」の支払いです。これだけでも、結構な金額になると思います。

最後にロータリー財団を是非ご活用ください。そして、財団に寄付したものがどのように使われているかご理解頂き、おひとり150\$ポリオプラス30\$にご寄付頂きます様、何卒、宜しくお願い致します。

今週の献立

【愛】



11月の祝い

- ★会員誕生祝 篠田義隆君
- ★配偶者誕生祝 牧賢一郎君 ご夫人 智恵さん
- ★入会記念日 早川比呂太君
- ★出席100%家族協力賞 早川比呂太君
- ★創業記念祝 鈴木泰光君 渡邊 徹君